

DSJ2012

Digital Signage Japan

デジタルサイネージ ジャパン

事前登録・最新情報はコチラ

<http://www.f2ff.jp/dsj/>

マルチスクリーン時代の コミュニケーションデザイン イノベーション



主催 デジタルサイネージ ジャパン 2012実行委員会

運営 デジタルサイネージコンソーシアム
株式会社ナノオプト・メディア

コンファレンスプログラムガイド

会場 幕張メッセ

会期 6月13日(水) 10:30~18:00
6月14日(木) 10:00~18:00
6月15日(金) 10:00~17:00

※一部コンファレンスは、12日(火)から開催しております。

受講料
最大 **5%OFF!**

本ガイドを受け取った方限定

ご優待コードを進呈!

事前登録で受講料が5%OFF!
今すぐお申し込みください!

詳しくは P30へ▶▶



空間と情報は融合して
無限のカタチへ

主催 ロケーションビジネス ジャパン 実行委員会

運営 株式会社ナノオプト・メディア

スマートデバイス ジャパン 2012

スマートフォン・クラウドデバイスで
ビジネスをもっと自由にする

主催 株式会社ナノオプト・メディア

運営 株式会社ナノオプト・メディア

事前登録・最新情報はコチラ

<http://www.f2ff.jp/lbj/>

事前登録・最新情報はコチラ

<http://www.f2ff.jp/sdj/>

コンファレンスプログラムガイド

最新事例、クリエイティブ、アプリ連携など
サイネージビジネス次へのヒントを探る充実のプログラム

6月13日(水)		6月14日(木)		6月15日(金)	
DSJ-01	HTML5が与えるマルチスクリーンメディアへのインパクト 【チャーター】 羽田野 太巳 / 株式会社ニューフォリア 最高技術責任者 【スピーカー】 井原 雅行 / 日本電信電話株式会社 NTTサイバーソリューション研究所 源古 俊一 / 日本電信電話株式会社 NTTサイバーソリューション研究所 榎堀 武 / 株式会社日立製作所 都市開発システム社 ソリューション事業部 ビルソリューション本部 メディアサービス部 部長代理	DSJ-04	新・東京サイネージ百景 ～デジタルメディア、ソーシャルメディア激変の渦中における 東京最新事例から考えるデジタルサイネージの行く末は如何に?～ 【チャーター】 江口 靖二 / デジタルメディアコンサルタント デジタルサイネージコンソーシアム常務理事 【スピーカー】 菅原 謙之 / ビーデューン株式会社 代表取締役 山本 孝 / 株式会社ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 媒体開発部 部長 田 直幸 / シャープ株式会社 国内営業本部 ディスプレイシステム営業部 大坂 智之 / NEC テレコム・コンテンツソリューション事業部 シニアエキスパート	DSJ-07	デジタルサイネージクリエイティブの 今とこれから (仮) 【チャーター】 吉田 勝広 / 株式会社オリコム メディア本部 メディア推進室 室長 大岩 徹人 / 株式会社電通 コミュニケーション・デザイン・センター シニアクリエイティブ・ディレクター 【スピーカー】 須田 和博 / 株式会社博報堂 エンゲージメントビジネスユニット エンゲージメントクリエイティブ局 クリエイティブディレクター 高野 文隆 / 株式会社アサツーディ・コム コミュニケーション・アーキテクト クリエイティブ・ディレクター / コミュニケーション・アーキテクト
DSJ-02	これが地域型マルチスクリーンとアプリ連携の決定打 ～地域で小さく確実に回せる、長野県佐久市エリアでの新事業～ 【チャーター】 江口 靖二 / デジタルメディアコンサルタント デジタルサイネージコンソーシアム常務理事 【スピーカー】 吉田 達矢 / さくりすITサポート事業組合 合同会社 企画・コミュニケーションプランナー 半田 かつ江 / さくりすITサポート事業組合 でしたる屋フォト&デザインスタジオ 佐久岩村田商店街振興組合Web担当理事IT推進担当 小林 尚美 / さくりすITサポート事業組合 佐久、小諸、軽井沢地域ブログポータルサイト あさま日和 工藤 美幸 / 長野県佐久市 赤津 直紀 / 株式会社ロケッコ 取締役 濱中 慎一 / NTTアイティ株式会社 サイネージ事業部 草水 美子 / 株式会社QOLP 代表取締役	DSJ-05	デジタルサイネージにおける アカウントビリティ (仮) 【チャーター】 吉田 勝広 / 株式会社オリコム メディア本部 メディア推進室 室長 【スピーカー】 山本 孝 / 株式会社ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 媒体開発部 部長 中野 雅之 / 株式会社電通 アウト・オブ・ホーム・メディア局 業務開発部 プロジェクト・マネージャー 野原 久男 / 株式会社ビデオリサーチ 調査業務局次長	DSJ-08	サイネージに活かす モーショングラフィックスと サウンドクリエーション 【チャーター】 江口 靖二 / デジタルメディアコンサルタント デジタルサイネージコンソーシアム常務理事 【スピーカー】 大森 聖 / TO-FU 山口 哲一 / 株式会社バグコーポレーション 代表取締役 一般社団法人日本音楽制作者連盟理事
DSJ-03	統合コミュニケーションデザインと デジタルサイネージ 【チャーター】 柳 貴男 / 株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ 高級誌・メディアソリューションズ 統合コミュニケーションプランニング部 シニアメディアプランニングディレクター	DSJ-06	ワークスペースサイネージ・NEXT 【チャーター】 喜多村 真 / 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 事業開発室 【スピーカー】 福永 泰男 / サイバーソリューション株式会社 代表取締役社長 船谷 貴司 / 株式会社 竹中工務店 ワークスペースソリューション本部 ITソリューショングループ	DSJ-09	明日のデジタルサイネージ ロケーション、o2oの可能性 【チャーター】 川村 行治 / 株式会社インセクトマイクロエージェンシー 【スピーカー】 藤部 徹 / 株式会社空気読み 代表取締役 小嶋 敦 / 楽天株式会社 編成部 副部長 長津 孝輔 / 株式会社カドバヤ 取締役

(敬称略)

※本ガイドに記載の情報は2012年4月13日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

DSJ-02

6月13日(水) 14:40~16:10

これが地域型マルチスクリーンとアプリ連携の決定打
～地域で小さく確実に回せる、長野県佐久市エリアでの新事業～

講師	Chair / Speakers
Chair	江口 靖二 / デジタルメディアコンサルタント デジタルサイネージコンソーシアム常務理事
Speakers	吉田 達矢 / さくりすITサポート事業組合 合同会社 企画・コミュニケーションプランナー 半田 かつ江 / さくりすITサポート事業組合 でしたる屋フォト&デザインスタジオ 佐久岩村田商店街振興組合Web担当理事IT推進担当 小林 尚美 / さくりすITサポート事業組合 佐久、小諸、軽井沢地域ブログポータルサイト あさま日和 工藤 美幸 / 長野県佐久市 赤津 直紀 / 株式会社ロケッコ 取締役 濱中 慎一 / NTTアイティ株式会社 サイネージ事業部 草水 美子 / 株式会社QOLP 代表取締役

概要 Overview

長野県佐久市で6月にスタートするマルチスクリーンをフルに生かした新事業が「あさまチャンネル」である。これは地元商店街とイオン、地域ポータルサイト、行政、位置情報サービスなどの連携で、パソコン、スマートフォン、タブレット、デジタルサイネージをロケーションや状況に応じて利用しながら地元商店街と住民、行政が相互に利用するための新事業体である。そもそもこの取り組みの出発点は、デジタルサイネージでもマルチスクリーンでもない、2011年に内閣総理大臣賞を受賞した佐久市の岩村田町商店街における地域活性化の取り組みがスタートである。この商店街では独自に複数の事業を立ち上げたり、地元のイオンとの地域WAONカードや商品仕入れの共通化などの画期的な取り組みを行ってきたところだ。こうした地域活性化に対して積極的にかつ実績がある街で、地元に着したデジタルサービスを提供している個人商店と、すでに地域では非常に有名な地域ポータルサイトが、その情報流通をWEBだけではなくスマートフォン、タブレット、デジタルサイネージにも拡大していくものである。位置情報サービスも組み合わせることで、当エリアで今最も課題である地域回遊性の確保も実現させる。入れ物だけを無理やり助成金を使って構築して、まったく利用されない事例が後を絶たない中、ここでは地元の熱意ある人々が集まり、驚くほど金をかけずとも商店街や住民に役立つサービスを目指している。この事例は日本全国に活用可能であり、そのための参考になるセッションである。

DSJ-01

6月13日(水) 12:50~14:20

HTML5 が与えるマルチスクリーンメディアへのインパクト

HTML5's Impact on Multiscreen Media

講師	Chair / Speakers
Chair	羽田野 太巳 / 株式会社ニューフォリア 最高技術責任者
Speakers	井原 雅行 / 日本電信電話株式会社 NTTサイバーソリューション研究所 ヒューマンアプライアンスプロジェクト 主幹研究員 工学博士 源古 俊一 / 日本電信電話株式会社 NTTサイバーソリューション研究所 ヒューマンアプライアンスプロジェクト 研究員 榎堀 武 / 株式会社日立製作所 都市開発システム社 ソリューション事業部 ビルソリューション本部 メディアサービス部 部長代理

概要 Overview

ウェブ技術であるHTML5は、さまざまな業界において利用が検討され始めていますが、デジタルサイネージも例外ではありません。本セッションでは、ウェブ技術者、研究開発者、デジタルサイネージに直接かかわるメーカーという三者三様の立場から、デジタルサイネージとHTML5をはじめとしたウェブ技術の融合の可能性を語ります。そして、HTML5をはじめとしたウェブ技術は、現在のデジタルサイネージの課題を解決できるのか、そして、将来への期待についてパネルディスカッションします。

DSJ-05

6月14日(木) 14:40~16:10

デジタルサイネージにおける アカウントビリティ(仮)

講師 Chair / Speakers

- Chair** 吉田 勝広 株式会社オリコム メディア本部 メディア推進室 室長
- Speakers** 山本 孝 株式会社ジェイアール東日本企画
交通媒体本部 媒体開発部 部長
- 中野 雅之 株式会社電通 アウト・オブ・ホーム・メディア局 業務開発部
プロジェクト・マネージャー
- 野原 久男 株式会社ビデオリサーチ 調査業務局局次長

概要 Overview

近日公開

DSJ-03

6月13日(水) 16:30~18:00

統合コミュニケーションデザインと デジタルサイネージ

講師 Speaker

- Speaker** 柳 貴男 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 関西支社
メディアソリューション局
統合コミュニケーションプランニング部
シニアメディアプランニングディレクター

概要 Overview

インターネットの普及からソーシャルメディア、スマートデバイスの出現により、メディア環境は大きく変化した。それとともにコミュニケーションデザインの手法もさまざまな変化を遂げ、コミュニケーションツールとしてデジタルサイネージも重要な役割を担っている。今回は、そうした時代の変化を踏まえて実施した既存デジタルサイネージを活用したコミュニケーション事例からオリジナルデジタルサイネージをプロデュースしたもまで、デジタルサイネージを活用した統合コミュニケーションデザインの事例を紹介しながらこれからの時代のコミュニケーションにおけるデジタルサイネージの役割を考えていく。

DSJ-06

6月14日(金) 16:30~18:00

ワークスペースサイネージ・NEXT

講師 Chair / Speakers

- Chair** 喜多村 真 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社 事業開発室
- Speakers** 福永 泰男 サイバーステーション株式会社 代表取締役社長
- 粕谷 貴司 株式会社竹中工務店 ワークプレイスプロデュース本部
ITソリューショングループ
- 他、近日発表

概要 Overview

急速な情報化への対応が求められるオフィス、工場生産現場。様々な問題解決をデジタルサイネージで行う最新鋭の事例を紹介。導入の経緯から費用対効果の考え方まで掘り下げます。

DSJ-04

6月14日(木) 12:50~14:20

新・東京サイネージ百景

～デジタルメディア、ソーシャルメディア激変の渦中における
東京最新事例から考えるデジタルサイネージの行く末は如何に？～

講師 Chair / Speakers

- Chair** 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント
デジタルサイネージコンソーシアム常務理事
- Speakers** 菅原 淳之 ピーディーシー株式会社 代表取締役
- 山本 孝 株式会社ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 媒体開発部 部長
- 佃 直幸 シャープ株式会社 国内営業本部 ディスプレイシステム営業部
- 大坂 智之 NEC テレコム・コンテンツソリューション事業部
シニアエキスパート

概要 Overview

いまや世界でも有数のサイネージ都市である東京。東京スカイツリー、ソフトバンクショップ、ユニクロ銀座などなど、2012年に新たに出現した東京のデジタルサイネージは規模も技術も素晴らしい。しかし、こうした技術はデジタルサイネージだけに恩恵をもたらしているわけではなく、WEB、ソーシャルメディアはもちろん、放送までもこの変革にさらされている。今後、無線系を中心にネットワークはますます使いやすくなり、加えてHTML5がもたらすインパクトは計り知れない。デジタル化によってハードウェアに差異がなくなり、テレビセットメーカーが苦境に立たされているのは周知のとおりだ。ではデジタルサイネージはどうだろう。2012年に続々導入されたサイネージは、何のために設置され、どのようなメリットをだれに提供できているのか。それは機器の優劣を超えた競争のスタートである。本セッションでは、こうした東京の最新のサイネージ事例を紹介しつつ、都市空間、都市生活におけるデジタルサイネージのあり方についてパネリストと議論してみたい。

DSJ-09

6月15日(金)14:40~16:10

明日のデジタルサイネージ
ロケーション、o2oの可能性

講師 Chair / Speakers

Chair 川村 行治 株式会社インセクトマイクロエージェンシー

Speakers 跡部 徹 株式会社空気読み 代表取締役
小磯 敦 楽天株式会社 編成部 副部長
長津 孝輔 株式会社カドベヤ 取締役

概要 Overview

デジタルサイネージは動く看板として活用される以外に何が考えられるのでしょうか。街とのつながり、個人との関係、新しいコマスの形や連携。地域とのつながり。web業界を中心に活躍している論客が、webやアプリケーション業界で起こっているムーブメントを踏まえ、フォーマットされた固定概念を融かす様々な視点で明日のサイネージ活用を議論をします。

DSJ-07

6月15日(金)10:20~11:50

デジタルサイネージクリエイティブの
今とこれから(仮)

講師 Chair / Speakers

Chair 吉田 勝広 株式会社オリコム メディア本部 メディア推進室 室長

Speakers 大岩 直人 株式会社電通 コミュニケーション・デザイン・センター
シニア・クリエイティブ・ディレクター
須田 和博 株式会社博報堂 エンゲージメントビジネスユニット
エンゲージメントクリエイティブ局 クリエイティブディレクター
高野 文隆 株式会社アサツーディ・ケイ コミュニケーション・アーキテクト局
クリエイティブ・ディレクター/コミュニケーション・アーキテクト

概要 Overview

従来テレビやPCなど主に画面は横と決まっていた世界から、昨今、駅構内などで設置されている大画面サイネージなどはタテ型が主流になりつつあります。また、サイネージの設置条件によっては、ある程度の時間視聴が期待できるものや、歩行者導線上にあるもののように動いている人を対象にしたものなども存在しています。このような背景をベースに本セッションでは、現在のパッケージメディアにおける状況や今後のクリエイティブのあり方について気鋭のクリエイターの方々と考察します。

デジタルサイネージ ジャパン 2012
実行委員会

実行委員長

中村 伊知哉 慶應義塾大学教授/融合研究所代表理事

実行委員

阿良田 剛 三菱電機株式会社
西田 豊 パナソニックシステムネットワークス株式会社
川添 雄彦 日本電信電話株式会社
伊能 美和子 日本電信電話株式会社
江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント
岩田 天植 博報堂DYメディアパートナーズ株式会社
小野打 恵 株式会社ヒューマンメディア
尾崎 常道 株式会社ネクストウェブ
吉田 勝広 株式会社オリコム
引場 純一 株式会社スペースシャワーネットワーク
中村 秀治 株式会社三菱総合研究所
廣田 洋一 インテル株式会社
中野 雅之 株式会社電通
岳中 純郎 株式会社ニュースペース・コム
多田 周平 株式会社ニューフォリア
石戸 奈々子 デジタルサイネージコンソーシアム事務局長

DSJ-08

6月15日(水)12:50~14:20

サイネージに活かすモーショングラフィックスと
サウンドクリエーション

講師 Chair / Speakers

Chair 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント
デジタルサイネージコンソーシアム常務理事Speakers 大森 聖 TO-FU
山口 哲一 株式会社バグコーポレーション代表取締役
一般社団法人日本音楽制作者連盟理事

概要 Overview

そのサイネージ、やっぱり誰も見てないでしょ。だってインパクト無いし。気がつかないし。そもそも誰もサイネージ見ようと思って街歩いてないし。このセッションではモーショングラフィックスというシンプルな文字や図形を効果的に動かすことで視認性を高め、インパクトある表現方法と、サイネージでは見落とされがちなサウンド、音楽といった異なる2つの視点に注目しながら、それぞれの側から見たデジタルサイネージのダメなところと、大いなる可能性についてを議論します。独りよがりなコンテンツクリエイティブからの脱却です。

スマートデバイス企業活動への期待、
次のビジネスを広げるモバイル・ワイヤレス最新技術紹介まで。

6月14日(木)

SDJ-01

スマートデバイス企業内徹底活用術

12:50
↓
14:20

チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
スピーカー 中山 五輪男 / ソフトバンクモバイル株式会社
ビジネス推進統括部 シニアエヴァンジェリスト
原田 圭悟 / KDDI株式会社
スマートソリューション部 スマートソリューション部長

SDJ-02

モバイルデバイス管理 (MDM) 最新技術動向

14:40
↓
16:10

チェア 山口 英 / 奈良先端科学技術大学院大学 教授
スピーカー 柳下 幹生 / モバイルアイアン インク 販売担当副社長, APJ
北村 裕司 / サイバートラスト株式会社 最高技術責任者
関 徳男 / NEC クラウドデバイス事業部 エキスパート

SDJ-03

IoT, M2Mを実現するユビキタスID技術

16:30
↓
18:00

チェア 越塚 登 / 東京大学大学院情報学環 教授
スピーカー 湧田 雄基 / 東京大学大学院情報学環 特任助教
峯岸 康史 / YRP ユビキタス・ネットワークング研究所

6月15日(金)

SDJ-04

無線LAN最新技術動向： ギガビット無線LANとSP Wi-Fiオフロード

10:20
↓
11:50

チェア 今井 俊宏 / シスコシステムズ合同会社
テクノロジー&リサーチセンター シニアマネージャー
スピーカー 小林 佳和 / NEC クラウド戦略室 シニアエキスパート
人見 高史 / シスコシステムズ合同会社
AP CTO オフィスJPN シニアマネージャー

SDJ-05

スマートデバイスを活かす近距離無線通信の現状

12:50
↓
14:20

チェア 丹 康雄 / 北陸先端科学技術大学院大学
情報科学研究科 教授
スピーカー 岩崎 潤 / ソニー株式会社
事業戦略部門 TJ推進室 企画推進担当部長
山本 秀哉 / NFC Forum 日本電気株式会社
パーソナルソリューション事業開発本部 マネージャー

SDJ-06

スマートフォンのセキュリティ ～利用と管理の立場から～

14:40
↓
16:10

スピーカー 竹森 敬祐 / 株式会社KDDI研究所
ネットワークセキュリティグループ

(敬称略)

※本ガイドに記載の情報は 2012 年 4 月 13 日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

SDJ-02

6月14日(金) 14:40~16:10

モバイルデバイス管理 (MDM) 最新技術動向

The Trend of Mobile Divide Management
with Top MDM Vendors in the World

講師

Chair / Speakers

Chair 山口 英 奈良先端科学技術大学院大学 教授
Speakers 柳下 幹生 モバイルアイアン インク 販売担当副社長, APJ
北村 裕司 サイバートラスト株式会社 最高技術責任者
関 徳男 NEC クラウドデバイス事業部 エキスパート

概要

Overview

スマートデバイスを業務で活用する企業が増加しており、ビジネスにおけるiPhone・iPad、Androidデバイスの活用(社員への配布、個人所有 デバイスの有効活用など)は、「業務効率の改善」「顧客満足度の向上」「売上の拡大」「ワークスタイルの変革」などに大いに有効な手段となっています。しかしながら、「紛失・盗難などの情報漏洩リスクの管理」「アプリケーションの利用制限」「アクセス制限」「カメラなどの機能制限」など、システム管理者にとっては悩みが多く、スマートデバイスをビジネスで安全に活用するために、利便性を確保しつつセキュリティを保つ対策が不可欠となります。本セッションでは、業界をリードするMDM(モバイルデバイス管理)ベンダーにより、スマートデバイスの活用に伴うセキュリティ対策で必須と考えられる MDMの最新技術動向について、「安全な通信環境の実現」「利用者や利用端末の識別」「モバイルデバイスの管理機能」などのさまざまな切り口から、今後の ネットワークシステム設計や運用に役立つ情報を提供します。

SDJ-01

6月14日(木) 12:50~14:20

スマートデバイス企業内徹底活用術

Benefits of Enterprise Use of Smart Devices

講師

Chair / Speakers

Chair 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
Speakers 中山 五輪男 ソフトバンクモバイル株式会社
ビジネス推進統括部 シニアエヴァンジェリスト
原田 圭悟 KDDI株式会社
スマートソリューション部 スマートソリューション部長

概要

Overview

企業におけるスマートデバイスの導入が、さまざまな業種業態で加速しています。たとえば内線電話・メール・グループウェアといった基本的な「コミュニケーションツール」としての役割から始まって、訪問・店舗での商品検索・プレゼンといった「営業支援」、在庫・進捗管理などの「業務システム」、あるいは「教育・トレーニング」として用いられている例もあります。実際これらの導入後の企業においては、ワークスタイルの改善が図られ、売上げの向上や業務の改善が実現できています。いまやスマートデバイスは、企業の成長のための大きなファクターとして欠かせないものとなってきています。そこで本セッションでは、企業において業務改革を推進している方の参考となるよう、効果の高いスマートデバイスの導入実事例について詳しく紹介します。

SDJ-05

6月15日(金)12:50~14:20

スマートデバイスを活かす
近距離無線通信の現状Near Field Communication and Related Technologies
That Empower Smart Devices

講師 Chair / Speakers

Chair 丹 康雄 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授

Speakers 岩崎 潤 ソニー株式会社 事業戦略部門 TJ推進室 企画推進担当部長
山木 秀哉 NFC Forum
日本電気株式会社 パーソナルソリューション事業開発本部
マネージャ

概要 Overview

数cmといった、ごく近距離にある機器間のみで通信が可能となる近距離無線通信技術は、すでに日本国内ではSuicaやお財布ケータイといった形で広く利用されていますが、近年のスマートホン、タブレット端末などのスマートデバイスの普及とともに、再び大きく注目を集めつつあります。とくに、Android 2.3以降でのNFC(Near Field Communication)のサポートや、NFCの搭載で複数の非接触規格を一台で扱うことのできるリーダライタの出現は、新たな展開を予想させます。また一方で、数百Mbpsに及ぶ高速な通信を実現し、画像データなどのやりとりをスムーズに行えるような近距離無線通信技術も実用化されています。

本セッションでは、他の無線通信技術との比較における近距離無線通信の位置づけなど、概要を述べた後、高速転送を実現するTransferJetの概要と現状、さらに、NFC Forumにおける活動状況について解説します。

SDJ-06

6月15日(金)14:40~16:10

スマートフォンのセキュリティ
～利用と管理の立場から～

Smartphone Security - Guides for Use and Management -

講師 Speaker

Speaker 竹森 敬祐 株式会社KDDI研究所
ネットワークセキュリティグループ

概要 Overview

スマートフォンとは、PCむけ汎用OSの上に、利便性の高いアプリケーションを実行させるための豊富なAPIが揃った携帯端末です。誰もが安心して利用できるように、さまざまな安全機構を備えており、通常の利用シーンにおいてはマルウェア感染などのセキュリティ事故は生じません。しかし、「連絡先や位置情報を勝手に抜き取り、請求書に記載して高額な振り込みを強要する詐欺」や、「シャッター音を消すカメラによる盗撮」など、特有の犯罪も発生しています。不安を煽る記事や誤った認識が拡がる中で、購入を躊躇する個人や法人は少なくなく、正しい知識に基づく利用を心掛けることが重要です。

本講演では、スマートフォンとPCの違いを知り、そのセキュリティ機構を正しく理解した上で、事故に遭遇しないための利用時の注意点について整理します。また、業務の効率化のために法人への導入を検討するシステム部門むけに、スマートフォンを安全に管理するための注意点についても整理します。これにより、安心して活用いただくための普及・啓発に繋がることを期待します。

SDJ-03

6月14日(木)16:30~18:00

IoT、M2Mを実現するユビキタスID技術

Ubiquitous ID Technologies for IoT and M2M

講師 Chair / Speakers

Chair 越塚 登 東京大学大学院情報学環 教授

Speakers 湧田 雄基 東京大学大学院情報学環 特任助教
峯岸 康史 YRPユビキタス・ネットワークング研究所
ユビキタス事業室 部長

概要 Overview

近年、Internet of things (IoT)、Machine to machine (M2M) 通信技術、また中国では物聯網、感知中国といった、いわゆるUbiquitous Computing、Ubiquitous Network技術の新たな展開が盛んに行なわれています。これらの取組みでは、実世界と計算機上の仮想世界とを有機的に結合させることで、新しい情報通信サービスを確立することが志向されています。

そこで本セッションでは、我が国を中心に取り組まれてきたユビキタスID技術を中核とした、IoT、M2Mといった分野へのアプローチを紹介し、その実現に不可欠である新しい情報社会基盤にありかたや、標準化に関しても言及します。

SDJ-04

6月15日(金)10:20~11:50

無線LAN最新技術動向：
ギガビット無線LANとSP Wi-FiオフロードWireless LAN Recent Technology Trend:
Gigabit Wireless LAN & SP Wi-Fi Offload

講師 Chair / Speakers

Chair 今井 俊宏 シスコシステムズ合同会社
テクノロジー&リサーチセンター シニアマネージャーSpeakers 小林 佳和 NEC クラウド戦略室 シニアエキスパート
人見 高史 シスコシステムズ合同会社
AP CTO オフィス JPN シニアマネージャー

概要 Overview

2011年の末あたりから、IEEE802.11ac/adに準拠した無線LANチップが各社から発表され、超高速無線LANの実用化がいよいよ間近に迫ってきました。

ギガビットを超えるデータ伝送速度があれば、無線LANの通信速度がボトルネックになることはなく、高画質映像などの大容量のデータでも、僅かな時間でやり取りができるようになります。たとえばスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末では、この超高速化による利便性の向上が、大きく期待できます。

一方、モバイル端末からのデータトラフィックが携帯通信網を圧迫し続けていることから、携帯通信事業者は、公衆無線LANサービスの展開に力を入れています。すなわち、一部のトラフィックを無線LANホットスポットにオフロードさせ、負荷を回避するためです。その際にベースとなる技術としては、Wi-Fi Allianceが取組んでいるHot Spot 2.0や、3GPPで検討が進むLTE時代を見据えたオフロード手法などが挙げられています。

そこで本セッションでは、IEEE802.11およびWi-Fi Allianceで議論が進む無線LANの最新技術動向を整理するとともに、ギガビット無線LAN技術とSP(サービスプロバイダ)によるWi-Fiオフロードに焦点をあて、今後のネットワーク設計や運用に役立つ情報を提供します。

「最新技術」と、「サービスと表現」、「プライバシー」など、
広がるロケーションビジネスへの期待と懸念を共有し、すべての解決策を一望するプログラム

6月13日(水)		6月14日(木)		6月15日(金)	
LBJ-01	ロケーションビジネスにおける プライバシーの考え方 12:50 ↓ 14:20 チェア 坂下 哲也 / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 電子情報利活用推進部 次長 スピーカー 高崎 晴男 / 株式会社KDDI総研 執行役員 クロサカ タツヤ / 株式会社企 代表取締役	LBJ-04	実用化をむかえる可視光通信を もちいた位置サービス 12:50 ↓ 14:20 チェア 春山 真一郎 / 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 スピーカー 近藤 陽介 / パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 まるごとソリューションズ本部 参事 飯塚 宣男 / カシオ計算機株式会社 羽村技術センター 研究開発センター 中島 円 / 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 春山研究室 後期博士課程 国際航業株式会社	LBJ-07	ロケーションベースドサービス 最前線(仮) 10:20 ↓ 11:50 近日公開
LBJ-02	ロケーションビジネス基盤として の位置情報表現と標準化 14:40 ↓ 16:10 チェア 坂下 哲也 / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 電子情報利活用推進部 次長 スピーカー 高橋 陽一 / インディゴ株式会社 シームレス空間基盤研究開発センター センター長 足達 嘉信 / セコム I S 研究所 ビルディングテクノロジーグループ 主務研究員	LBJ-05	新しいアイデアの発想と そのビジネス展開 ~AR (Augmented Reality)などの 新しいアイデアからのビジネス展開~ 14:40 ↓ 16:10 チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授 スピーカー 厩本 純一 / 東京大学大学院情報学環 教授	LBJ-08	ビジネスユースとしての 地図コンテンツの選び方 12:50 ↓ 14:20 チェア 古橋 大地 / マップコンシエージュ株式会社 代表取締役 一般社団法人オープンストリートマップ・ ファウンデーション・ジャパン 副理事長 スピーカー 村田 岳彦 / ヤフー株式会社 メディア事業統括本部 地域サービス本部 本部長 他、近日公開
LBJ-03	ビッグデータが拓く ロケーションベースマーケティング 16:30 ↓ 18:00 チェア 鈴木 良介 / 株式会社野村総合研究所 ICT・メディアコンサルティング部 主任コンサルタント スピーカー 丸田 哲也 / 株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 上級コンサルタント 本田 謙 / フリーアウト CEO	LBJ-06	IMES:衛星測位による屋内測位技術 16:30 ↓ 18:00 チェア 神武 直彦 / 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授 スピーカー 小暮 聡 / 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 真 / 測位衛星技術株式会社 取締役 石井 孝一 / ソニー株式会社 半導体事業本部 アナログLSI事業部 コミュニケーションLSI製品部システム設計マネジャー 寺西 雅一 / 自治医科大学 地域医療センター地域医療情報学部門 講師	LBJ-09	本格化するWi-Fiベースの 屋内ロケーションサービスビジネス 14:40 ↓ 16:10 チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授 スピーカー 木下 泰三 / 株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ワイヤレスインフォ統括本部 統括本部長 那須 俊宗 / マルティスグループ株式会社 代表取締役 塩野崎 敦 / クウジット株式会社 取締役CTO

(敬称略)

※本ガイドに記載の情報は2012年4月13日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

LBJ-02

6月13日(水) 14:40~16:10

ロケーションビジネス基盤としての 位置情報表現と標準化

講師 Chair / Speakers

- Chair** 坂下 哲也 / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)
電子情報利活用推進部 次長
- Speakers** 高橋 陽一 / インディゴ株式会社
シームレス空間基盤研究開発センター センター長
足達 嘉信 / セコム I S 研究所
ビルディングテクノロジーグループ 主務研究員

概要 Overview

東日本大震災では、阪神淡路大震災当時にくらべて、地図データそのものに関する課題は見られませんでした。一方で、避難所の位置情報が機械判読可能な状態で提供されていなかったことなど、位置コンテンツに関する課題が顕在化しました。欧米でも、LOD(Linked Open Data)など機械判読可能な形で情報を提供し、それらを融合することで、あらたな付加価値を創造しようとする動きが顕著になってきています。測位についても、わが国独自の準天頂衛星システムの整備や屋内測位方式の多様化など、その標準化はサービス推進の上で課題になってきています。最近では屋内空間サービスの隆盛に伴い、それらの標準化にむけた活動が活発化してきています。このセッションでは、『位置情報を取り巻く様々な標準化の動向』を紹介し、『我が国サービスの事業展開の方向性』について議論します。

LBJ-01

6月13日(水) 12:50~14:20

ロケーションビジネスにおける プライバシーの考え方

講師 Chair / Speakers

- Chair** 坂下 哲也 / 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)
電子情報利活用推進部 次長
- Speakers** 高崎 晴男 / 株式会社KDDI総研 執行役員
クロサカ タツヤ / 株式会社企 代表取締役

概要 Overview

モバイル機器へのGPS標準搭載が進み、チェックインなど位置情報を発信するコストが大幅に低下しました。それにとまって、ユーザの位置情報を利用したLBSも増加しています。一方、スマートフォンなど常に位置情報を発信するデバイスの登場によって、プライバシーに配慮した取扱いが求められています。ビッグデータの時代をむかえ、国際的にも、OECDでは集積データの中の価値が見直され、パーソナル情報の経済価値などの検討が始まり、EUではデータ保護規制が、米国でもプライバシー権利章典などが発表されるなど、制度的な枠組みにも変化が見られるようになりました。このセッションでは、『パーソナル情報を中心とした国際的な制度的枠組み』と、『利用の在り方』について、事例を交えつつ紹介するとともに、利用と保護の両側面から今後のあるべき姿について考察します。

LBJ-05

6月14日(木) 14:40~16:10

新しいアイデアの発想とそのビジネス展開

～ AR (Augmented Reality) などの新しいアイデアからのビジネス展開～

講師 Chair / Speaker

Chair 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授

Speaker 暦本 純一 東京大学大学院情報学環 教授

概要 Overview

位置情報、Virtual Reality, Augmented Reality など、デジタル情報基盤が進化するにつれ、新しいアイデアが生み出されそれに基づくビジネスが展開されていきます。このセッションでは、このような新しいアイデアを発想するところからスタートし、それを社会に適用可能なサービスとしてビジネス展開していくまでを考察します。その実例として、AR だけでなく非常に早い時期に WiFi ロケーションサービスをビジネスとして推し進めている東京大学大学院情報学環暦本純一教授が、新しい発想を生み出し実際のサービスとして社会へ適用していくための考え方と今後の展開について紹介します。

LBJ-06

6月14日(木) 16:30~18:00

IMES: 衛星測位による屋内測位技術

Indoor Location by IMES based on Satellite Navigation Technology

講師 Chair / Speakers

Chair 神武 直彦 慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科准教授Speakers 小暮 聡 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
測位衛星技術株式会社 取締役
石井 真 ソニー株式会社
寺西 孝一郎 半導体事業本部 アナログLSI事業部
コミュニケーションLSI製品部 システム設計マネジャー
藍原 雅一 自治医科大学 地域医療学センター地域医療情報学部門 講師

概要 Overview

携帯電話やスマートフォンにおいて、GPS測位は標準機能となり、O2O(オンライン・ツー・オフライン)といった位置情報を基軸としたバーチャルとリアルを融合した市場が急速に拡大しています。また、いままで米国のGPSのみだった衛星測位システムも日本の準天頂衛星が打ち上げられ、さらに揚州のガリレオやロシアのGLONASS、中国のコンパスなどの衛星測位システムも稼働してくるといった状況で、ますます衛星測位の利便性や性能が向上することになるでしょう。

一方、衛星測位の唯一の欠点とも言える屋内測位は、大きな課題としてクローズアップされており、日本からGPS信号を使って、そのまま屋内でも測位できるIMES (Indoor Messaging System) が開発され、実用段階に入ってきました。

そこで本セッションでは、衛星測位の現状を紹介し、衛星測位の屋内測位技術であるIMES技術の紹介していきます。屋内測位における特徴、課題を送信機、受信機を当事者からのプレゼンテーションといった形でリレーし、最後にIMES測位を重要な位置情報として利用する医療現場からの話につなげます。

LBJ-03

6月13日(水) 16:30~18:00

ビッグデータが拓く
ロケーションベースマーケティング

Location Based Marketing Powered by Big Data

講師 Chair / Speakers

Chair 鈴木 良介 株式会社野村総合研究所
ICT・メディアコンサルティング部 主任コンサルタントSpeakers 丸田 哲也 株式会社野村総合研究所
社会システムコンサルティング部 上級コンサルタント
本田 謙 フリークアウト CEO

概要 Overview

本セッションでは、フィジカル領域におけるビッグデータ活用の可能性を、マーケティング分野の先鋭事例分析を通じて紹介します。

ビッグデータの活用はGoogle, Amazon, Facebookに代表されるインターネットサービスを中心に進展してきました。今後は、サイバー・フィジカルの融合サービスの登場や、サイバー領域でつちかった手法をフィジカル領域へと転用することが予想されます。

フィジカル領域では事象をデータに変換するための負荷が大きく、そのことがデータ活用上の障壁となっていました。近年のセンサの高度化・低価格化や、通信機能をそなえた機器の増加により、その障壁は取り払われつつあるためです。

本セッションでは、すでに実現されている『インターネット広告配信の高度化』、『店舗におけるリアルタイムマーケティング』、『先鋭的なロケーションベースドサービス』、『位置データを用いたプライシング高度化』などを紹介し、フィジカル領域におけるビッグデータの中心である位置データの活用可能性を再確認します。

LBJ-04

6月14日(木) 12:50~14:20

実用化をむかえる可視光通信をもちいた位置サービス

Location-based Services Using Visible Light Communication

講師 Chair / Speakers

Chair 春山 真一郎 慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科 教授Speakers 近藤 陽介 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
まるごとソリューションズ本部 参事
飯塚 宣男 カシオ計算機株式会社 研究開発センター 室長
中島 円 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科
春山研究室 後期博士課程
国際航業株式会社

概要 Overview

近年、可視光LEDは、照明器具、交通信号機、ディスプレイなどの光源として急速に普及しつつあります。とくにLED照明は現在急速に普及しつつありその光に位置情報を乗せることで屋内外のユビキタスな位置ビーコンとしてもちいることができます。

パナソニック株式会社エコソリューションズ社の近藤陽介氏からは、屋内のLED照明を用いたナビゲーション等のサービスについてご紹介します。また、可視光はスマートフォンのカメラでも検出することができるため、撮影された画像にLED光源に乗った情報を重ねることができます。カシオ計算機株式会社の飯塚宣男様からは、スマートフォンのカメラを用いた新しい応用についてご紹介します。さらに、慶應義塾大学の中島円氏からは、屋内の経路案内を特に必要としている視覚障害者のためのナビゲーションシステム、および屋内の詳細な経路やフロアプランの作成方法についてご紹介します。

有料コンファレンス参加料金 (税込)

※下記は、Interop Tokyo、IMC Tokyo、デジタルサイネージ ジャパン、スマートデバイス ジャパン、ロケーションビジネス ジャパン共通の料金表となります。

お申込パッケージ		記号	当日価格(6月9日(土)~)	事前登録価格(~6月8日(金))
ワークショップ(1日間コース)		NW	¥45,000	¥35,000
ハンズオン(1日間コース)		NH	¥65,000	¥50,000
コンファレンス	1日間 ※1日の間NC、IMC、DSJ、LBJ、SDJを1セッション以上	NC	¥40,000	¥30,000
		IMC		
	3日間 ※3日の間NC、IMC、DSJ、LBJ、SDJを各日1セッション以上	DSJ	¥80,000	¥60,000
		LBJ		
		SDJ		
ShowNetテクニカルツアー&セッション ※NSTを1つ(NST-01とNST-02は同じ内容です)		NST	¥10,000	¥8,000
スペシャルパッケージ ※各セッションの組み合わせでさらにお得です！			当日価格(6月9日(土)~)	事前登録価格(~6月8日(金))
フルコンファレンスパッケージ (いずれのセッションも登録可能)			¥140,000	¥110,000

【ご注意】

上記お申込項目および各種パッケージ料金は、同一の方のご利用を前提としています。

同一時間帯のセッションを受講することはできません。

1枚の受講証内に受講セッションを全て記載してお渡しする形となり、複数名で分割してのご利用は出来ませんので予めご了承ください。

受講票にはコピー防止のマークがあります。必ず受講される方お一人につき、上記料金をお支払ください。

会場にてご本人確認を行わせていただく場合がございますのでご了承ください。

事前登録の締切は**6月8日(金) 18:00**までとなります。

リピーター/リピーター紹介割引の期限も同様です。

是非お得な事前登録価格での登録をお勧めします。

お問い合わせ先

■登録事務局(各展共通)

・コンファレンスについて
june-conf@f2ff.jp

ご登録はこちら

・Interop Tokyo 2012
<http://www.interop.jp/>

・IMC Tokyo 2012
<http://www.imctokyo.jp/>

・デジタルサイネージ ジャパン 2012
<http://www.f2ff.jp/dsj/>

・スマートデバイス ジャパン 2012
<http://www.f2ff.jp/sdj/>

・ロケーションビジネス ジャパン 2012
<http://www.f2ff.jp/lbj/>

アクセス



●JR京葉線「海浜幕張駅」下車 徒歩5分 ●JR総武線「幕張本郷駅」下車 バス15分

コンファレンスプログラム参加要項

登録方法

同封のFAX申込用紙か、
オンラインにてご登録いただけます。

オフィシャルサイトよりご登録ください。

なお、オンライン登録の場合のみお支払い方法は銀行振り込み・クレジットカードのいずれかをご登録時にお選びいただけます。FAX申込用紙にてご登録の場合には、お支払方法は銀行振り込みのみとなります。

登録に関するご注意とお願い

- 会場の席数には限りがあり、ご参加いただけない場合もあります。特にワークショップは定員になり次第締切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- プログラム一覧をご熟読の上、お申込みください。時間帯が重なるセッションは登録いただけませんので、セッション選択時に十分ご注意ください。
- 会議資料の販売はいたしておりません。ご登録いただいた方には該当資料をウェブよりダウンロードいただけます。
- スケジュールおよび内容は、一部変更になることがあります。会場の場所と併せて、当日お渡しするガイドブック及び資料で再度ご確認ください。

各プログラムの会期

- ワークショップ／ハンズオン 6月12日(火)～6月15日(金)
- コンファレンス 6月13日(水)～6月15日(金)
- ShowNetテクニカルツアー&セッション 6月13日(水)～6月14日(木)

6月8日(金)までにお申込みいただきますと、事前登録価格として、通常価格より15%オフにてご利用いただけます。6月9日(土)以降のお申込みにつきましては、定価でのご利用となりますのでご注意ください。

ご入場範囲

コンファレンスにご登録いただいた方は、基調講演・特別講演会場、展示会場にもコンファレンス登録バッジにて無料でご入場いただけます。

同封のFAX申込用紙かオンライン登録受付中!

コンファレンス登録がお得に!

本ガイドを受け取った方限定
ご優待割引コード進呈!

★ご優待5%割引コード★

Pv5gCS9d

1日券

¥30,000 (税込) ▶ ¥28,500 (税込)

¥1,500もお得!

3日券

¥60,000 (税込) ▶ ¥57,000 (税込)

¥3,000もお得!

フルパッケージ

¥110,000 (税込) ▶ ¥104,500 (税込)

なんと、最大 ▶ ¥5,500もお得!

割引コードの
使い方

登録内容の確認画面にある、「ご登録コード入力欄」に、ご優待割引コードを入力し、「再計算」ボタンをクリックしてください。合計金額が通常料金より【5%引き】となりますので金額をお確かめの上、「次へ」お進みいただき、ご登録者情報等ご入力ください。

※料金についての詳細は、別途公式 Web サイトにてご確認ください。

コンファレンス ファックス申込用紙

(事前登録価格)

・Interop Tokyo 2012 ・IMC Tokyo 2012
・デジタルサイネージ ジャパン 2012
・スマートデバイス ジャパン 2012
・ロケーションビジネス ジャパン 2012

FAX: 03-6431-7850

申込締切: 6月8日(金) 18:00

個人情報の取り扱いについて

下記の規約を確認の上、にチェック(✓)をお付けください。

同意する

同意しない

※必ずチェック(✓)をお願いいたします。

1. Interop Tokyo 2012実行委員会が行う【Interop Tokyo 2012】、IMC Tokyo 2012 実行委員会が行う【IMC Tokyo 2012】、デジタルサイネージジャパン 2012実行委員会が行う【デジタルサイネージジャパン 2012】、株式会社ナノオプト・メディアが行う【スマートデバイス ジャパン2012】、ロケーションビジネス ジャパン実行委員会が行う【ロケーションビジネス ジャパン2012】(以下、5展をまとめて「本イベント」)での個人情報の取り扱いには運営事務局である、株式会社ナノオプト・メディアに委託・管理されています。
2. 本イベントの個人情報の取り扱いについては、株式会社ナノオプト・メディアが自ら定める「個人情報保護方針」及び「プライバシーポリシー」に沿って適切な管理をするよう監督いたします。株式会社ナノオプト・メディアの「個人情報保護方針/プライバシーポリシー」をご覧ください。
http://nanooptmedia.jp/privacy
3. ご登録頂いた個人情報は本イベントの運営管理、次回開催のご案内に使用致します。また、株式会社ナノオプト・メディア 主催・運営のイベント、展示会、会議のご案内や参加企業情報などのご案内のため、郵送・E-mail・FAXによるダイレクトメールの送付や配信代行サービス、または電話のご案内に利用いたします。
4. 本イベントでは来場者バッジにバーコード・システムを採用しており、出展ブースでバッジ記載のバーコードを読み取られた場合は、ご登録いただきました個人情報が出展社に提供されます。以降、当該出展社の管理責任の下、製品やサービス、セミナーなどのご案内をする場合があります。バーコードの読み取りは、お名刺の提供と同様、お客様と出展社の間に個人情報の提供行為が発生したものと、個人情報の開示・訂正・削除・利用停止の要請はお客様ご自身で直接出展社に行なっていただくこととなりますので予めご了承ください。
5. 本イベントに含まれるセミナーに登録または参加される場合個人情報(名刺情報一氏名、会社名、郵便番号、住所、部署名、役職名、TEL番号、FAX番号、E-mailアドレスのみ)は、当該セミナー担当企業および団体に提供されます。提供された個人情報は、当該提供先企業/団体の管理責任の下、当該企業/団体の個人情報保護方針またはプライバシーポリシーに沿って製品やサービス、セミナーなどのご案内をする場合がございます。
6. 本イベントの運営事務局が、ご案内送付などのために個人情報の取り扱いを業務委託する場合がございます。その際、業務委託先が適切に個人情報を取り扱うよう監督いたします。
※当該担当企業および団体とは、セッションを提供する企業または団体であり、当該セッションの講師の所属企業とは限りません。

2012年3月1日 株式会社ナノオプト・メディア

【個人情報に関するお問合せ】 株式会社ナノオプト・メディア E-mail: nom-info@2f.jp TEL: 03-6431-7800

お客様情報をご記入ください。

氏名(漢字)	氏名(ローマ字)	名
姓		
勤務先住所 〒		
勤務先 (Company)		部署・役職 (Division)
TEL	FAX	E-mail @

お申し込みの金額カテゴリと受講希望セッションをお選びください。

STEP 1. 金額カテゴリをお選びください。

お申し込みパッケージ	記号	事前登録価格(〜6月8日)
ワークショップ(1日間コース)	NW	<input type="checkbox"/> ¥35,000 × 日間
ハンズオン(1日間コース)	NH	<input type="checkbox"/> ¥50,000 × 日間
コンファレンス	1日間 ※1日の間NC, IMC, DSJ, LBJ, SDJを1セッション以上	NC IMC DSJ <input type="checkbox"/> ¥30,000 × 日間
	3日間 ※3日の間NC, IMC, DSJ, LBJ, SDJを各日1セッション以上	LBJ SDJ <input type="checkbox"/> ¥60,000
ShowNetテクニカルツアー&セッション ※NSTを1つ(NST-01とNST-02は同じ内容です)	NST	<input type="checkbox"/> ¥8,000
スペシャルパッケージ ※各セッションの組み合わせでさらにお得です!		事前登録価格(〜6月8日)
フルコンファレンスパッケージ (いずれのセッションも登録可能)		<input type="checkbox"/> ¥110,000

※価格はいずれも税込価格です。
6月9日(土)以降は、通常料金にて、会場で受付いたします。

事務局使用欄

STEP 2. 受講希望のセッションをお選びください。

	NW	NH	NC	IMC	DSJ	LBJ	SDJ	NST
6/12 Tue.	<input type="checkbox"/> NW-01 <input type="checkbox"/> NW-02 <input type="checkbox"/> NW-03	<input type="checkbox"/> NH-01 <input type="checkbox"/> NH-02						
6/13 Wed.		<input type="checkbox"/> NH-03	<input type="checkbox"/> NC-01 <input type="checkbox"/> NC-03 <input type="checkbox"/> NC-05 <input type="checkbox"/> NC-07 <input type="checkbox"/> NC-09 <input type="checkbox"/> NC-11	<input type="checkbox"/> NC-02 <input type="checkbox"/> NC-04 <input type="checkbox"/> NC-06 <input type="checkbox"/> NC-08 <input type="checkbox"/> NC-10 <input type="checkbox"/> NC-12	<input type="checkbox"/> IMC-01 <input type="checkbox"/> IMC-02 <input type="checkbox"/> IMC-03	<input type="checkbox"/> DSJ-01 <input type="checkbox"/> DSJ-02 <input type="checkbox"/> DSJ-03	<input type="checkbox"/> LBJ-01 <input type="checkbox"/> LBJ-02 <input type="checkbox"/> LBJ-03	<input type="checkbox"/> NST-01
6/14 Thu.		<input type="checkbox"/> NH-04 <input type="checkbox"/> NH-05	<input type="checkbox"/> NC-13 <input type="checkbox"/> NC-15 <input type="checkbox"/> NC-17 <input type="checkbox"/> NC-19 <input type="checkbox"/> NC-21	<input type="checkbox"/> NC-14 <input type="checkbox"/> NC-16 <input type="checkbox"/> NC-18 <input type="checkbox"/> NC-20	<input type="checkbox"/> IMC-04 <input type="checkbox"/> IMC-05 <input type="checkbox"/> IMC-06	<input type="checkbox"/> DSJ-04 <input type="checkbox"/> DSJ-05 <input type="checkbox"/> DSJ-06	<input type="checkbox"/> LBJ-04 <input type="checkbox"/> LBJ-05 <input type="checkbox"/> LBJ-06	<input type="checkbox"/> SDJ-01 <input type="checkbox"/> SDJ-02 <input type="checkbox"/> SDJ-03 <input type="checkbox"/> NST-02
6/15 Fri.		<input type="checkbox"/> NH-06	<input type="checkbox"/> NC-22 <input type="checkbox"/> NC-24 <input type="checkbox"/> NC-26 <input type="checkbox"/> NC-28 <input type="checkbox"/> NC-30	<input type="checkbox"/> NC-23 <input type="checkbox"/> NC-25 <input type="checkbox"/> NC-27 <input type="checkbox"/> NC-29	<input type="checkbox"/> IMC-07 <input type="checkbox"/> IMC-08 <input type="checkbox"/> IMC-09	<input type="checkbox"/> DSJ-07 <input type="checkbox"/> DSJ-08 <input type="checkbox"/> DSJ-09	<input type="checkbox"/> LBJ-07 <input type="checkbox"/> LBJ-08 <input type="checkbox"/> LBJ-09	<input type="checkbox"/> SDJ-04 <input type="checkbox"/> SDJ-05 <input type="checkbox"/> SDJ-06

割引コード
Pv5gCS9d (5%引き)
割引コードを適用いただけます。

合計金額:	円
割引後合計金額:	円

お支払い方法について、ご確認ください。

銀行振込 (請求書を発行いたします。)

※ 本用紙を利用したお申し込みでは、お支払方法は銀行振込のみとなります。クレジットカードでの決済をご希望の場合にはオンライン登録をご利用ください。

興味のあるイベントにチェック(✓)をお願いします。

下記アンケート項目にすべてご記入の上、お申込みください。
該当する項目を○で囲んでください。

- Interop Tokyo 2012 IMC Tokyo 2012
 デジタルサイネージ ジャパン 2012 ロケーションビジネス ジャパン 2012
 スマートデバイス ジャパン 2012

- 業種
01 製造業(非IT)
02 商社/卸/小売業(非IT)
03 金融/証券/保険
04 建設/不動産
05 学校/教育機関
06 運輸/物流
07 病院/医療機関
08 印刷/出版
09 広告/デザイン/制作会社
10 研究所(民間/公共)
11 官公庁/協会/団体
12 農林/水産/鉱業
13 放送/映像/音楽産業
14 テレビ放送
15 ラジオ放送
16 ケーブル放送
17 ビデオプロダクション/ポストプロダクション
18 グラフィック/アニメーション/特殊効果
19 フィルム/映画
20 デジタルファイルの製作/管理/配信
21 コンテンツ制作/管理/配信
22 サービス業(非IT)
23 インターネットサービスプロバイダー/データセンター
24 オンラインビジネス
25 システムインテグレータ
26 コンサルティング
27 コンピュータ小売/販売代理店
28 商社/リセラー(IT関連)
29 通信キャリア
30 ソフトウェア製品製造業
31 コンピュータメーカー/周辺機器メーカー
32 ネットワーク/通信関連機器メーカー
33 その他

- 職種
05 企業情報システム
03 ネットワークエンジニア(キャリア、ISP、Sterの方など)
04 システムエンジニア(キャリア、ISP、Sterの方など)
21 経営
06 コンサルタント
07 技術研究開発
08 制作/編集
09 広告/デザイン/制作会社
10 撮影/写真関連
11 ライター
12 広報/宣伝
13 営業/販売
14 調査/企画
15 購買/バイヤー
16 総務/人事
17 法務
18 財務/経理
19 教師
- 役職
01 経営者/社長
02 役員
03 部長/次長
04 課長
05 係長/主任
06 一般社員/職員
- 従業員数
01 50人未満
02 50〜99人
03 100〜499人
04 500〜999人
05 1,000〜4,999人
06 5,000〜9,999人
07 10,000人以上

- 関与度(製品・サービスへの)
01 購入/導入の決定を下す
02 具体的な製品/サービスの推薦/指定
03 製品/サービスの仕様を検討/決定する
04 利用する
- 性別
01 男性
02 女性
- 年齢
01 18〜20歳
02 21〜24歳
03 25〜29歳
04 30〜34歳
05 35〜39歳
06 40〜44歳
07 45〜49歳
08 50〜54歳
09 55〜59歳
10 60歳以上
- イベントを知ったきっかけ
01 出展企業からの案内(Eメール・DM・招待券)
02 主催者/事務局からの案内(Eメール・DM・招待券)
03 新聞・雑誌広告
04 Web/バナー広告
05 知人や同僚から聞いて
- 来場目的
01 導入予定の製品、サービスの絞込みを行うため
02 新製品・サービスに興味があるから
03 業務で役立つ実務的なものを探るため
04 人的交流を図るため
05 技術知識を高めるため
06 ShowNet(会場内ネットワーク)に興味があるから

- 製品・サービスに関わる立場について
01 製品やサービスを導入する立場(企業ユーザー等)
02 企業に提案をする立場(SI、コンサルティング)
03 製品を販売する立場(メーカー、ベンダー)
04 その他
- 具体的な製品やサービスの導入検討はされていますか?
01 はい
02 いいえ
- ※「はい」と答えられた方にお聞きします。
導入検討の時期についてお聞かせ下さい。
01 至急
02 6ヶ月以内
03 1年以内
04 3年以内
05 それ以上
- ※「はい」と答えられた方にお聞きします。
予算規模についてお聞かせ下さい。
01 未定
02 500万円未満
03 1,000万円未満
04 5,000万円未満
05 5,000万円以上
- 本イベントへのご出展
01 出展を検討したいので詳細の資料を送付して欲しい
02 出展は検討していない

【注意】

ご登録頂いた個人情報は本イベントの運営管理、次回開催のご案内に使用いたします。また、株式会社ナノオプト・メディア主催・運営のイベント、展示会、会議のご案内や参加企業情報などのご案内のため郵送・E-mail・FAXによるダイレクトメールの送付や配信代行サービス、または電話のご案内に利用いたします。詳しくは株式会社ナノオプト・メディアの個人情報保護方針/プライバシーポリシー http://nanooptmedia.jp/privacy をご覧ください。